

令和5年度 第2回安曇野市健康づくり推進協議会

1	審議会名	安曇野市健康づくり推進協議会
2	日 時	令和5年10月11日 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会 場	安曇野市 豊科ふれあいホール
4	出席者	伊藤委員、古川委員、佐藤委員、山田委員、白上委員、 青木委員、高原委員、青柳委員、千國委員、細萱委員
5	市側出席者	吉田部長、渡邊課長、小林センター長、橋詰係長、 矢花係長、浅川係長、市川係長、佐野係長、小松係長、 宮澤副主幹、中村主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和5年10月31日

  

協 議 事 項 等	
<p><b>【協議事項】</b></p> <p>(1) 安曇野市健康づくり計画（第3次）素案について</p> <p>(2) その他</p> <p><b>【会議概要】</b></p> <p>1 安曇野市健康づくり計画（第3次）素案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料に基づき、安曇野市健康づくり計画（第3次）素案について章を分けて説明。</li> <li>● 資料に基づき、序章から第3章までを説明。</li> <li>○ 歯科口腔保健行動指針、食育推進計画、自殺対策計画を健康づくり計画に統合し一体的に策定。素案を元に健康づくり推進協議会のご意見いただき、修正を加えていくことを説明。</li> <li>○ 序章では、国の方針や法律、また国県市の各関連計画などとの整合性を図ったこと、計画期間は国に合わせて、令和17年度までの12年間とし、令和11年度に中間評価、令和16年度に最終評価を行い、最終が令和17年度に次期計画策定とすることを説明。</li> <li>○ 第1章市の状況を説明し（第2章前計画の評価と課題は前回説明のため省略）、第3章計画の基本方針について、「一人ひとりが健康への関心を高め、健やかで心豊かな生活を送るための健康づくりを推進し、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目指します。」を目標に定め、3つの基本方針を説明。</li> </ul> <p>&lt;主な意見&gt;</p> <p>（委 員） 表紙タイトルに「一人ひとりが自分の健康に関心をもち、健やかで心豊かな生涯を送るための健康づくりを目指して」となっているが、第2次総合計画の後期基本計画の「いきいきと健康に暮らせるまち」に位置づけられているので、この用語をそっくり使ったタイトルを導入すべきではないかと、また、市の一環とするもろもろの計画づくりの中の整合をとるべきだと感じました。</p> <p>2つ目としまして、糖尿病の項目ですけれども、学会での病名の変更が今推移してきており、詮索していただいた上で、向こう12年間の計画ですので、糖尿病という病名を変えていく方がよろしいのではないかと感じました。</p>	

乳幼児期、子ども期、大人期、高齢期には、個々特定の病気に関わる症状があり、生活習慣病などの諸々の病気が生じないよう「市民皆が老衰で生涯を終えるようなまちづくり」に貢献できる計画づくりをしてもらいたい。

特に乳幼児期の母子保健教育では、母親に対する健康づくり教育・指導を徹底してやっていくことが肝要だと思いますので、乳幼児期の対策として講じていただけるような立案をしていただきたいと思います。

子どもは未熟であり、義務教育の中の一環として、健康教育なども強く教育委員会などを通じ各学校、幼稚園に保育園へ指導をすることで、個人と社会のウェルビーイング、身体的精神的社会的に良い状態を実現させるように、健康指導を行っていくよう計画づくりを進めたいと思います。

特に子どもたちには、栄養や食生活、運動などの指導が肝要だと思いますので、今発生している摂食障害・食物アレルギー・メタボリックシンドローム・子どもロコモの関係や、歯科口腔保健に関しては、歯科健診の継続、歯の健康を守る指導など、それから心の健康に関して、不登校、いじめ、虐待、発達障害、生活環境が議会でも話題になっています、光や色・音・香り・食感などの過敏症など、これらの対応にきめ細かい健康指導の策定をお願いしたいと思います。

市独自で、安曇野市歯科口腔保健行動指針が策定されており、基本はこの計画だと認識しています。同様に安曇野市自殺対策計画や安曇野市食育推進計画が、新計画に繋がってきていると思いますので、健康づくり計画に大いに盛り込んでいただくことを期待しています。

大人期に関して、がんの対策や生活習慣病の予防対策、これが一番肝要だとは思いますが、保険制度の中で成人期の皆さんに対しての保健指導などは、国保に関わっている人しかタッチできないような制度的な仕組みがあり、市民の皆さんに波及してないので、安曇野の広報とか、市の83地区にある健康づくり推進員の皆さんを巻き込みながら保健教育指導を、力強く進めてもらう計画づくりを構築したと思います。

歯科口腔や栄養・食生活、身体・活動運動の対策、飲酒、タバコ、休養、心の健康などの課題が、大人期の健康対策として挙げられていますので、十分病名を含めながら、具体的な高次の対策の計画づくりを進めていただけたらと思います。

高齢期にあつては、フレイル対策がやはり1番大きな課題になってくると思いますし、それから生活習慣病が高度に進んでくると終末期医療にも関わる問題でありますので、具体的なそれらの危険な老化防止を図るために、適度な運動や適正な食生活、良好な睡眠がとれるような健康教室を地区に入りながら指導を進め、高齢化の疾患に関して、認知症・骨粗鬆症・慢性炎症などの持病を持ち合わせる高齢者が増えてきますので、そこに至らないような健康対策を講じていく計画づくりをしていただきたいと思います。

今やっている健康診断の項目に加えて、尿検査での食塩摂取量の推定や、血清CRP検査での慢性炎症のチェック、鉄の腎臓貯蔵鉄量を測る検査もありますので、並みの検査以上に、深い病気対策としてお金をかけてでも健診に盛り込んでもらい、市民の健康を保持するような努力をしていただきたいと思います。

健診にあわせて体力測定もしたらと思います。健康状態を数値的に把握するだけでなく、実際に自分の体の機能がどのように維持されているかを実感として知ってもらい、健康対策を自己で講じてもらう働きかけになる健診・体力測定の実施をお願いします。

食育の委員の構成員に本郷先生がおり、本郷先生は信州大学保健学科の

教授、内科学の教授で、松川村の信州大学医学部地域連携事業を、大学と松川村の連携による研究を進められており、研究教育プログラムというようなものが策定をされています。このような知見者を大いにこの計画づくりに導入し図っていただけたらと思います。

県や市の保健師・看護師の方々は、県の看護協会の組織に加わり、年次それぞれ、高次の今流の教育の講座を受け研鑽に励まれておりますから受講の成果を、この計画づくりに発揮していただけたらと期待しておりますので、知見を盛り込んだ計画づくりに反映していただけるようお願いしたいと思います。

(会 長) ありがとうございます。多方面で非常に網羅的にお話いただきましたが、お話を聞いていて全て重要なことだと思いましたので、参考にさせていただければと思います。

ところで、糖尿病はこれから名前変わるんでしたっけ、先生。

(委 員) 今検討中で結論はまだ、ある程度世論が定まり、適度に認知度が高まらなないと浸透しないと思いますので、時間がかかるかと思います。あまり早く名称変更をしてしまうと、逆に誤解を産んだりする可能性もあるので、その辺は注意した方が良いかなどは感じます。

(会 長) 今のところは糖尿病ということになっているようですので、変わった時点でうまく変えていくべきかと思います。

●資料に基づき、第4章分野別の取組について、分野別に目標などを説明。

- 1. 栄養・食生活「適正体重を維持し、生活習慣病の発生予防・重症化予防につなげる。」
- 2. 身体活動・運動「身体活動・運動量を増やし、健康増進につなげる。」
- 3. 休養・睡眠「睡眠や余暇が日常生活の中に適切に取り入れられた生活習慣を確立し、健康増進を図る。」
- 4. 飲酒「適正飲酒に努め、アルコールによる健康障害や生活習慣病を予防する。」
- 5. 喫煙・COPD（慢性閉塞性肺疾患）「喫煙による健康被害をなくす。」
- 6. 歯と口腔の健康「歯と口腔の健康を維持・改善し、全身の健康を保ち質の高い生活を営めるようにする。」
- 7. がん「保健行動とがん検診の受診で自分の健康を守る。」
- 8. 循環器病「循環器病の主要な危険因子である高血圧、脂質異常症等を適切に管理し、発症予防、重症化予防につなげる。」
- 9. 糖尿病「糖尿病の発症予防、重症化予防、合併症による臓器障害の予防・生命予後の改善に切れ目なく取り組み、健康寿命延伸につなげる。」
- 10. フレイル予防（生活機能維持）「生活習慣の改善を通じて、心身の両面から健康を保持することで、生活機能の維持低下予防を図る。」

<主な意見>

(会 長) 58ページの(1)はじめにの2行目から3行目にかけて、「心身の胃弱性が出現」とありますが、何かの誤植だと思いますが、いかがですか。

(事務局) 「ぜいじゃくせい(脆弱性)」の誤りです。

(会 長) 私から1つだけ、1から10までの分野別に、前半が主に健康の維持に関すること、後半が各疾病関係で、これらは相互の、例えば循環器病と糖尿病とか、がんとか、関連性が非常に深いものですし、例えば私がいつも言う喫煙に関して、5番の喫煙という項目ですが、これを下げることによって、1番から10番までの多くの項目の目標達成にも多分近づきますので、それぞれに分野別の縦割でなく関連性があるということを強調していただければと思いました。

● 資料に基づき、第5章 食育推進計画（第4章以外）、「食」ではぐくむ健康で豊かな人づくりを説明。

○ 4章分野別と食育計画と重なるところ以外について、第5章として位置づけしており、食育基本法では食育を「生きる上での基本であって、知育、徳育および体育の基礎となるべきものと位置づけるとともに、さまざまな経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること」になっています。

これに基づき、市では安曇野市食育推進計画の第2次・第3次を策定し推進してきました。また社会情勢の変化や市の食育の現状、これまでの取り組みの評価を踏まえ、引き続き安曇野市における食育に関する施策を総合的に計画しました。

<主な意見>

なし

● 資料に基づき、第6章自殺対策計画、誰も自殺に追い込まれることのない安曇野市の実現を目指してを説明。

○ 我が国の自殺対策は、自殺対策基本法が策定されて以降、自殺者は減少傾向になりましたが、近年新型コロナウイルス感染拡大等の影響もあり、再び増加に転じてきております。自殺死亡率は主要先進国7カ国の中でも最も多く、自殺者数も毎年2万人を超えて、非常事態は未だに続いている状況であり、安曇野市では平成31年3月に自殺対策計画を策定し、自殺対策を推進してまいりました。令和4年10月の自殺総合対策大綱の基本認識と方針を踏まえ、次期計画を策定し地域での自殺対策を推進していきたいと思えます。

また、自殺総合対策大綱では、令和8年までに平成27年と比べて自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）を30%以上減少させることを目標としており、これを踏まえ本市の目標は自殺死亡率を令和8年までに13.9以下とします。今後の市の自殺死亡率や自殺総合対策大綱の見直し等も踏まえて、必要に応じて計画の数値目標は検討していきたいと思えます。

<主な意見>

（会長） この83ページの主な評価指標の2行目にあります、PDCAサイクルっていうのはどういったものでしょうか。皆さんご存知ですかね。

（事務局） Pがプランで計画、DがDoで実行、Cがチェックで評価、Aがアクションで改善ということです。

● 資料に基づき、第7章計画の推進と目標を説明。

○ 健康づくりの推進のためには市民一人ひとりができることを実践し、地域や行政等社会全体で一体的に取り組むことが重要と考えています。市民や関係団体に計画の趣旨を周知し、地域全体で推進していきたいと思えます。計画を推進するにあたり、進捗管理・評価などを健康づくり推進協議会及び専門部会や庁内会議等で定期的実施し、状況を確認・協議して関係機関とも連携して推進していきたいと思えます。

<主な意見>

（委員） 85ページの計画推進のための体系図の中で、市に構成されている地区役員や健康づくり推進員が欠落していると思うが、この図式の中で市民への啓発活動をする上で大きな要素として、広報あずみの使った計画の公表とか、講座の開催などのお知らせをするともに、健康づくり推進委員を通じ、地域へ入り込んだ健康の啓蒙活動が肝要だと思いますので、この辺の位置づけも明確にされたいかたがたでしょうか？

（事務局） 今、健康づくり推進員の位置づけということでご質問がありましたが、現在も各地区で健康講座等の活動もしていただいている団体になります。市民のところの団体・組織になるのかなと思えますが、どこに位置づけるかについては検討をしたいと思います。

## 2 その他

- 11月中旬に次回の会議を予定しておりますけれども、会議の開催方法につきましては、本日の協議内容を踏まえて状況によりましては、開催または書面協議等に代えさせていただく場合もありますのでご了承をお願いいたします。

本日のご意見を踏まえまして、今後の計画策定を進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

### <主な意見>

(会 長) 11月の協議会が開催されるかどうか早急に計画を立てて周知していただければと思います。

- 全体を通しての意見・質問等

### <主な意見>

(委 員) 関係計画一覧の3番目、第3期安曇野市地域福祉計画地域福祉活動計画の計画年数ですが、6年になっているが、多分5年だと思いますので、所管課に確認をしていただければと思います。

(会 長) 確認をお願いいたします。3. 関係計画一覧のところです。

(委 員) 国の健康づくり運動の「健康日本21」の三次の計画を網羅してあり良いかと思いますが、私ども県民としては、県の計画がまだ作成されていないようですが、ゆくゆくは通達などで周知されることになるとと思いますので、県の計画もできたところでここに盛り込んで充実した計画作りに努めていただければと思います。

(事務局) まだ県でも意見聴取している段階で形ができていないようですが、検討とさせていただきます。